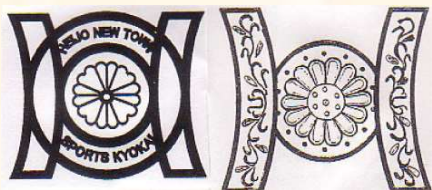


# 高の原の各種団体活動 平城ニュータウンスポーツ協会

## 『平城ニュータウンスポーツ協会の活動目標』

- \*一人ひとりのスポーツで健康づくり
- \*みんなスポーツで多くの友達づくり
- \*コミュニティスポーツで楽しい街づくり



創立30周年記念広報紙（2009年）に元会長石森義人氏より寄せられた「協会活動30年を振り返って」の文章と現在の活動について紹介いたします。

（以下、2009年寄稿文より）

『平城ニュータウン（以下「NT」）に入居が開始されたのが昭和47年、当時は、高の原駅も仮設で、駅に行く道も泥んこ道で、その道も日替わりのように工事の都合でルートが変えられました。ショッピングも第一団地・第二団地のショッピングセンターに数店舗があるだけ、そんな地に全国各地から人々が移り住みました。

知らない土地で知らない人同士の住民たちは、友達を求めて自治会を作り自治会を核として第二団地・第一団地にソフトボール・軟式野球・少年野球・空手道などの各クラブが自然発生的につくられ、又マラソン大会・夏祭りが行われました。そんな中で各種クラブや自治会が集まり、話し合い、「交流を深め仲間づくりをしよう！」「力を合せてもっと多くの種目のクラブをつくろう！」「統一した力で施設づくり要望もしていこう！」と、スポーツ協会（以下、「協会」）を創る発想が生まれました。

協会創りの準備は稲田・梶野・小林・宮川・奥・松本・山岡・畠山（右京小教諭）等の各氏を中心になり行われました。昭和53年7月16日第二団地集会所会議室で結成総会が開かれ、初代会長に稲田武一氏が選出され協会がスタートしました。

協会は、

- ①新クラブづくりと育成
  - ②住宅公団、奈良市等へのスポーツ施設関係要望
  - ③街づくりへの自治会との共同行動
- を主な目標として発足し活動しました。

クラブづくりは協会結成後急速に進み、卓球・バレーボール・剣道・柔道・薙刀・テニス・水泳・バドミントンと矢継ぎ早に結成されました。施設づくりについては、協会結成後直ちに住宅公団及び奈良市に対し、野球の出来るグラウンドとテニスコートを朱雀第二公園に造るよう要求し、翌年開設されました。併せて平城NTに体育館を建設するよう要求し、自治会と一緒に強力的交渉をし、3年から10年かけて実現しました。

昭和58年には、左京1号公園にグラウンド・テニスコートを建設するよう要求、住宅公団は難色を示し熾烈な交渉となりましたが、結果的には61年6月に出来上がりました。

ならやま会館の完成は昭和61年、早くも63年秋には1万2千余名の住民署名を集めて当時の西田市長に第二体育館（神功）建設を要求しました。奈良市はコミュニティ体育館が市全体で2館しかない。第一体育館が朱雀、三号館が神功では平城NTに偏ると大変渋りましたが、結局住民の署名の功あって平成7年に完成しました。

街づくり行事は自治会と共同でマラソン大会、ソフトボール大会、夏祭り等全住民対象の行事を行い現在に引き継がれています。



昔の様子

文部科学省を先頭に「地域総合型スポーツクラブ」創りを提唱し奈良市でもわが協会が指導的役割を果たして20近い地域クラブができています。わが協会発足当時は地域で横に繋がったスポーツの協会組織は三鷹市、神戸市垂水区に在ると聞き三鷹には電話で、垂水には視察交流に向き形態・活動状況を調査しました。

その結果は、三鷹は室内競技クラブだけの組織、垂水はグラウンド等の確保のための屋外クラブ組織で、わが協会のように全ての組織を網羅したものではありませんでした。

そういう点では当協会は、地域総合型スポーツクラブの日本の元祖でもあります。当協会を創設された稲田氏をはじめ先人たちの偉大な先見性に深い感銘を覚えます。

稲田初代会長は、あらゆる機会に『スポーツにはルールがある。スポーツを通じてルールを守る人創りをし、平城NTをルールを守るまちにする。』と言われました。

私は「爺さんその話はもう百回以上聞いたよ。」と冗談を言ったくらいでした。稲田会長が総会、大会の挨拶の中で言われた言葉を平成元年に協会の活動目標として定式化したのが次の標語です。

- \*一人ひとりのスポーツで健康づくり
- \*みんなスポーツで多くの友達づくり
- \*コミュニティスポーツで楽しい街づくり

当協会の活動が認められ平成元年6月に奈良県知事から「コミュニティスポーツ推進優良団体」表彰を戴き、続いて平成2年10月には「社会体育普及振興優良団体」として文部大臣賞を戴き記念祝賀会をして、「五葉の松」記念植樹としてならやまコミュニティ会館前に植えました。元年及び2年の表彰される年には、マスコミ重視の活動を精力的にした結果、二年間で当協会関係の記事が新聞雑誌合わせて70数回掲載されました。

風変わりなイベントとしては、昭和57年に協会「カーニバル」を実施。第二団地ショッピングセンター広場に各クラブが夜店を出し、舞台では各クラブ一芸の出し物で楽器演奏・歌謡・コーラス・舞踊・パレー

ボールクラブのフラダンスのときは大爆笑。

フィナーレはフォークダンス・社交ダンスと楽しみました。「スポーツ協会」昔話になりましたが、お許しください。スポーツ協会の緊急課題は、団塊の世代の代を迎え平城NTも高齢化が進み60歳以上が30%に迫ろうとしています。高齢者向けのスポーツの普及こそ地域協会の使命だと思えます。』



現在の協会の状況は、ニュータウン住民を主体に25種目、45のクラブが協会に加盟し活動しています。会員数は1241名を数え、各所属クラブは、ニュータウン内のスポーツ施設を利用して、日常的に活動を行うとともに、協会加盟クラブ員や自治会の皆さんの協力により、全住民を対象とした各種のスポーツ教室、講習会やスポーツ大会を引き続き開催しております。4自治連合会、26自治会、45スポーツクラブと地域内全学校（1高等学校、1中学校、1小中学校、2小学校）の協力を得る全国的にも稀有な三位一体の組織となっております。

「ならやまコミュニティスポーツ会館」と「高の原コミュニティスポーツ会館」については、奈良市の指定管理者制度により当協会が引き続き管理委託を受け、利用率ほぼ100%を維持しながら、協会クラブ員や住民の利用増進を図っております。

2023年現在 少子高齢化による人口減少、協会を取りまく環境は更に厳しい状態が続いていますが住民のスポーツ環境の維持発展に寄与し、これからの50年の歴史を紡ぐために『スポーツの力』を発揮し、地域を盛上げたいと思います。